

新たな門出、決意を胸に



1月9日、晴れ渡る空の下、スポーツ総合センターで「令和4年阿南市成人式」が開催されました。今回の該当者は、平成13年4月2日から平成14年4月1日生まれの方で、771人のうち609人(男303人、女306人)が出席し、多くの祝福と激励が贈られました。

新型コロナウイルス感染症対策として、午前の部(該当地区・桑野・新野・橋・椿・福井・那賀川・羽ノ浦)と午後の部(該当地区・富岡・中野島・宝田・長生・大野・加茂谷・見能林)の2部制で実施。また、YouTubeでライブ配信されました。

式典で、表原市長は、「支えてくれた方々への感謝の気持ちを忘れずに、それぞれの未来を諦めずに歩んでほしい」と激励。新成人を代表して午前の部は福田彩乃さん(新野地区)、午後の部は安藤稜平さん(見能林地区)が二十歳の決意を述べました。

新成人は、仲間との再会を喜び、写真を撮り合うなど旧交を温めていました。

二十歳の決意(要旨抜粋)



福田彩乃さん

私たちは、この自然豊かな阿南市に生まれ、家族や地域の方々からたくさんさんの愛情を受けながら、二十歳という節目の年を迎えることができました。

今日、私たちは社会の一員となるべく大人のスタートラインに立ちました。私は現在、

公務員として勤務しています。一人暮らしを始め、慣れない土地での生活や新しい職場環境に戸惑うことがあります。そういう本当に苦しい時や悩みを抱えている時、家族や周りの方々が私をたくさん愛情で育み、支えてくれたのだと気付かされます。

私たちはこれからも励ました地域の方々、そして共に歩んだ仲間への感謝の気持ちを忘れず、自分の行動に責任を持ち、社会に貢献してまいります。



安藤稜平さん

阿南市で育ち、経験した多くの出会い、出来事が私たちをここまで成長させてくれたのだと思うと、阿南市に生まれて良かったと心から思います。

私は現在、大学で電気電子工学を専攻しながら硬式野球部に所属しています。コロ

ナ禍もあり想像していた大學生生活との乖離や、また大野球の厳しさを痛感することもあります。そんな時、ふと思いつくのは高校での3年間です。クラスメイトとは互いに切磋琢磨し、野球部員とは目標に向かい戦い抜き、甲子園にも出場することができました。私にとってもあります。

これからの人生で壁にぶつかった時、ここにいる仲間たちに胸を張れるよう、昨日よりも良い一日を築き、各々の舞台で努力し続けてまいります。



実行委員などが製作したパンフレット



成人式実行委員(午前の部・敬称略)
(上段左から時計回りに)宮城杏菜(羽ノ浦) 三木望彩(羽ノ浦) 福田彩乃(新野) 川田隼己(那賀川) 岡本優駿(那賀川)



成人式実行委員(午後の部・敬称略)
(上段左から時計回りに)池田春菜(富岡) 米崎千尋(富岡) 奥野由花理(富岡) 松下航太(富岡) 安藤稜平(見能林)

令和5年以降の「成人式」について

民法の改正により、令和4年4月1日から、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられますが、阿南市では、民法改正後の令和5年以降も、現行通りその年度に20歳を迎える方を対象に開催します。

なお、名称については、現在、検討中です。

